

# 即位の礼 自衛隊の威容を国内外に顯示



### 大庭師団長以下と列・儀じょう隊（写真上下）

「祝賀御列の儀」  
第1師団は11月10日  
「祝賀御列の儀」において、と列・儀じようを行つた。午後3時からの「祝賀御列の儀」のパレードでは第1師団長大庭秀昭陸将を長とし、第32普通科連隊長横山佐以下5152名、第34普通科連隊5152名、その他、その他の大学・空自衛隊及び防衛医大約34校の隊員、総勢約34人。

# 「即位礼正殿の儀」 「祝賀御列の儀」



発行元  
第1師団司令部  
総務課広報班

第1師団  
ホームページ



facebook



Twitter



師團長要望事項

楽しく全力を出そう！  
喜んで全力を出させよう！



礼砲を実施した第1特科隊（写真上下）

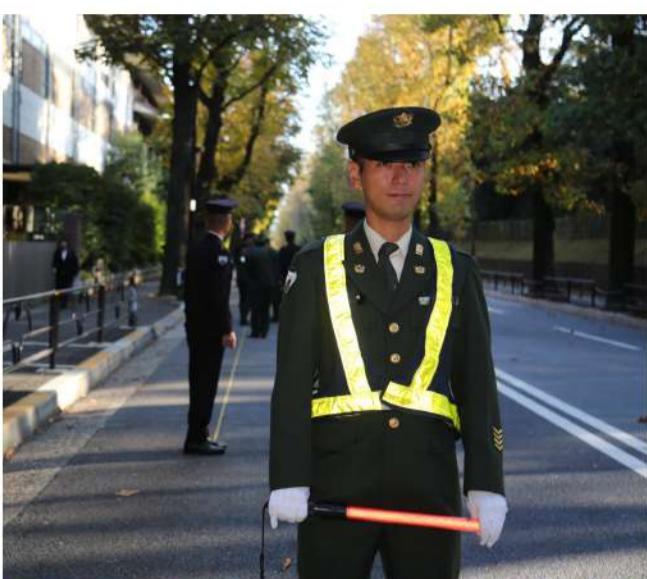


あり、名譽に感じるとともに、身の引き締まる思いでした。訓練当初は、重責からか動作が堅く、斉一にはほど遠いものであつたが、師団長の訓示である「世界一たる誇りを持つて」を合言葉に奮起一番、練成を重ね、一歩乱れぬ儀じょうで自衛隊の威容を天皇皇后両陛下にお見せできたらと思います。今回の経験を宝に、今後の職務を全うしたいと強く思います」と感想

【即位礼正殿の儀】を述べた。  
第1特科隊は10月22日、即位礼正殿の儀に参加し、隊長林1佐が指揮する増強された第1中隊によつて、北の丸公園で、即位礼正殿の儀式中に天皇陛下に祝意を表す礼砲を実施した。

が宮殿に到達するようにな  
で砲4門、合計21発の空  
行により礼砲の任務を遂  
行した。礼砲に参加した1砲2  
番手松岡士長は「礼砲  
部隊に初めて参加しまし  
た。5秒に一発、発射さ  
れる空包を、一撃動一動  
作を正確にできるよう着  
眼をもつて実施しました。  
国家的行事に参加できた  
ことを誇りに思います」  
と話した。

即位の礼！任務完遂！



# 令和元年度自衛隊音楽まつり

TOKYO  
1st BAND  
地上波待望の1度限り



入場受付を担当した第1普通科連隊 警備を担当した第1後方支援連隊



警備を担当した第1後方支援連隊



中央音楽隊とともに演奏した第1音楽隊（上下）

師団は11月30日から  
本競技場第1体育館で行  
われた令和元年度自衛隊  
音楽まつりに参加した。  
第1普通科連隊、第1後方支  
援連隊、第1大隊、第1偵察  
隊は実施設1  
に本部として参加し、会場  
における受付等を行うと

献な祭た 陰等持道ちとし  
し運典任隊で演支えられた。  
た。営の務員は技の出て樂器や  
に整を与えられた。  
大斎完遂しられ  
きく円滑貢



### 北富士天王太鼓（第1特科隊）



#### 朝霞振武大鼓（第1施設大隊）



演技支援隊の第32普通科連隊

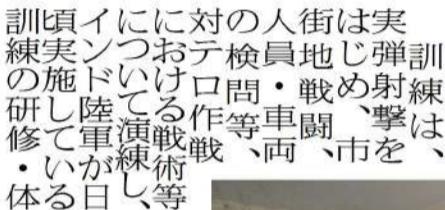
ダルマ・ガーディアン 19



### 日印両国の隊員による記念写真



## ジャングルサバイバル技術の レクチャーを受ける第34普通科連隊



験、日印の隊員共同による射撃支援、実在するス



## 相互に連携した市街地戦闘訓練



#### 装備品展示をする第3・4普通科連隊



大施隊祭苑淵元お没千10害科  
戦し拝に秋戦年い者鳥月派連第  
で、礼伴季没度て墓ヶ18遣隊1  
亡先をう慰者鳥令苑淵日中は普  
くの害部雪墓ヶ和に戦、の災通

## 陸自代表として挙礼



煙香を行う副師団長



## 陸自挙礼部隊の捧げ銃

なられた戦没者に対しても  
鎮魂の祈りを捧げた。

両殿下のご臨席の下、各政  
府高官、各政  
代表者、都府県代表者  
び各國駐日大使等多數の  
貴賓の他、陸海空の高官  
等が参列

隊員はこれまで積み上げてきた訓練成果を遺憾なく發揮し、与えられた任務を完遂した。

度の向上及び日印の友好関係構築の状況を確認した。

部分が多くありました。また、日印の隊員同士のバディで訓練を経たことがとても新鮮であり、お互いの友好関係がより牢固なものになつたと思します」と感想を話した。

## 関係機関との連携強化

# 山梨県國民保護共同訓練



## 住民の警護に当たる第1特科隊



負傷者を搬送する第1特科隊



#### 除染活動を行う第1特殊武器防護隊



## 患者を空輸する第1飛行隊

第1特科隊、第1特殊武器防護隊及び第1飛行隊は、11月21日、山梨県山中湖村で行われた令和元年度山梨県国民保護共同訓練に参加した。本訓練は文化施設等において、化学剤散布によるテロ対処事案と、爆破予告及び不審物への対処事案が短時間に発生した。場合を想定し、行なわれた。各機関は現地連絡調整所における関係機関との調整や、不審物の爆破による負傷者の搬送を行なった。難住民の警護に当たった。

第1特科隊と連携して、  
関係機関と確認・調整を  
実施し、テロ対処として  
化学剤散布による地域の  
除染を行つた。

して患者空輸を行つた。各部隊は、化学剤散布によるテロ対処時の関係機関と共同による負傷者の救出救助及び地域の除染訓練等を通じて、所望の成果を得た。



D M A T と連携して患者を  
搬送する第 1 飛行隊



### 補修整備をする第1施設大隊



### 伐採を行う第34普通科連隊

師団は11月13日から22日までの間、北富士演習場において、演習場機能の維持・向上を目的として秋季演習場定期整備を実施した。

本整備には第1師団整備部隊長（第34普通科連隊長深田1佐）以下、約千人が参加し、C射場の改修、D射場周辺の整備（対人狙撃銃用射座）、中央道路盤の改修整備

(RC舗装)、南防火帯道の復旧整備(砕石舗装)及び機動路の維持補修(不陸整正)等の特定工事を含む整備任務を完遂した。

また、課外時間を活用した陸書候補生の勉強会や各部隊の指定された隊員による意見交換会等を通じ、団結強化と服務意欲の向上を図った。

その他、各部隊毎に整

備と相まつた訓練を実施する等、隊務の総合一休化に努めた。17日には、師団長が整備状況を点検し、演習場が良好に整備されていることを確認するとともに、課外に行われた懇親会において、整備作業に従事した隊員を激励・慰労した。



## R C 舗装の整備状況を点検する師団長

# CSMコーナー



上番挨拶に臨む松田准尉



米海軍との下士官交流で居合いを披露

本を切部見す人らわさとけ員と大自のたあみ時  
の共に隊を見るのせつい思れ指をき衛隊めりて期  
正有すの取。意るた頃いば導心く隊員、まも的  
しする伝り若見。こ、まなをに係ののこす、特  
いる。統入手を一と親すら行留わ存育れ。そ性  
歴。経をるの尊人をに。なわめる続成かそうを  
史日驗大。意重一守教小いな隊こにはらので鑑



陸士代表  
第1施設大隊  
和田1十

陸曹代表  
第1通信大隊  
須藤 3曹

幹部代表  
第1後方支援連隊  
佐藤2尉



## 意見発表会場の講堂

と發表し、和事に臨んでは必ず身をもつて和誓書に署名し、情感を忘れず、当たり前に前のことについて、使命を達成ができた。授により方会と発表され、各面終了したが員監後發した。

第1高射特科大隊  
先任上級曹長の准陸尉松龍一と申します。上  
番してまもなく2年にな  
ろうとする中、隊員の思  
考の多様化について思う  
ところを述べたいと思  
います。

現代の学校教育方針は  
全国的に「自分の可能性  
にチャレンジして失敗を  
恐れず前向きに生きる」  
そしてその思いを受け止  
めてくれる社会があると  
いうことを前提に教育方  
針があり、学生生活を小  
学校から大学まで送ります。  
しかし、就職活動を向  
かえる頃からその方向性  
は少しずつ変わってくる  
ものと思います。実際に

これらの環境を実践が可能な企業はごくわずかで、企業としては、「自分を抑え会社のために一を必ずとていているのが現実的なところだと思います。この「自分を前に」という教育と「滅私奉公」という矛盾が社会にまとわりついでいると思います。例えば、ハラスメントトロットは無くすというのが、世間の風潮になつてきて、企業でも現実的には、難しい現状では無いでしょうか? LBLも同じ現象になつてゐると思います。W状では、自衛隊としてほどうでしょう? 少し振り返つてみれば、「存在して

この急速な時代の変化の中に、ある隊員が混在しています。いる今に存在しています。まさに今、隊員の思考の多様化を逆手に取り入れ、これから准曹士の在り方を指導するべき時期だと思います。

この経験から思い込みが多様化に乗り遅れる成長を妨げている要因だと思います。各部隊には沢山の問題が発生しています。その問題点を今までの考え方と対し、これまでの考え方には頼らなくなっています。上級陸曹から新隊員まで問題点をどうの様に捉え認識し、考え方を解決法を考えているのです。それがいかを掌握し、それらを取り入れた部隊としての解決策を講じなければいけないのです。それがいきれども、たったの年齢、生きています。それぞれの未来を育んでいます。それは自衛隊の目的は同じであります。そのための本旨に沿うように隊員たちが過程で考え方を違えてしまってはいけません。

更なる期待とともに歩んでいけるでしょうか。それともアジア情勢が大きく変化し、自衛隊が第一次戦で国を守る時が来るのでしょうか。はたまた自衛隊の存在が世間から否定され存在自体が無くなってしまうのでしょうか。

**使命感の醸成**

連隊の代表者 普てられた服務指導をして行きたいと思います。この文を書いている今も、自衛隊を取り巻く環

使命感の醸成に係る意見発表会  
3名の代表者 堂々と発表

を勉強する。アジア情勢を教育するなど、個人に対する指導を中心にしていかなければならぬといいと思います。そして、隊員一人一人が強くなり、その集団としての精強な自衛隊である事が求められてくると思います。第

3の柱として、個人の資質に関わる上級陸曹とて、部隊の伝統を守る生軍として、これから自衛隊の指向性について考慮された服務指導をして行きたいと思います。この文を書いている今も、自衛隊を取り巻く環

境は変わってきてています。それらを肌で感じ真剣に捉え、変化に対応できる隊員育成することは困難の連続かと思います。それを承知で部隊の先生に協力してもらいながら、最も大変なのが、隊員育成に励んでいる

## 退官者紹介

### 【第1後方支援連隊】

### 【第32普通科連隊】



### 【第34普通科連隊】



第2中隊  
陸曹長  
星屋 裕



第2中隊  
陸曹長  
種藤 潔



本部管理中隊  
3等陸尉  
久保田 雄司



本部付隊  
准陸尉  
田中 智司

### 【第1偵察隊】



本部付隊  
2等陸曹  
渡邊 拓



第3普通科  
直接支援中隊  
陸曹長  
伊藤 和久



火器車両  
整備中隊  
准陸尉  
大久保 博之

## 隊員家族投稿



「自衛官の妻として」

第1偵察隊 電子偵察小隊  
3等陸曹 千代田 修人  
妻 希実

妻 希実

結婚をして2年半が経ち、今年の8月に娘が誕生しました。元々、私たち夫婦は共働きということもあり、家事などは二人で協力して生活をしていましたが、娘が生まれてからも変わることなく、いや、それ以上に主人が積極的にサポートしてくれています。仕事で疲れているのに、帰ってくると必ず娘をお風呂にいれたり遊んでくれるので、私も毎日楽しく家事や育児を行うことが出来ています。

また、その日の出来事や娘の成長を話したり、次の休日の予定を立てたり、そんな何気ない時間が私たち夫婦にとって大切な時間であり、その積み重ねが、お互いの信頼関係を強くしています。

仕事上、訓練や災害派遣等で家を空ける機会が多いですが、自衛官の主人をいつも笑顔で送り出しているのも、一緒にいれる時間を大切にしているからだと思っています。

いつも一番に家族のことを考えててくれる夫に感謝しつつ、これからも、家族の時間を大切に、笑顔の絶えない家庭を築いていきたいです。



## 隊員自主募集ご協力のお願い

一般曹候補生・自衛官候補生の応募資格が規則改正！

採用予定期月の1日現在、

自分達の「同僚・後輩は自らの手で」

隊員の皆様のご協力が必要です。



見学随時募集！

OPEN  
平日：(土日祝)  
08:30~17:15



第1師団史料館

精神文化：03-3933-1161内線(2153)

悩み相談	0120-1848-38
心理相談（第1師団心理幹部）	8-31-2215
法律相談（第1師団法務官）	8-31-2266
倫理相談（第1師団法務官）	8-31-2265
「うつ」隊員等のサポート	0120-834-939